



春人参,育ってます



暖かくなって来てビニールやマルチを外した露地の人参。お天道様の下で順調に育っています。



こちらはハウス人参。保温が効くため露地栽培に比べて早く育てることが出来ます。



立派に育っている春人参。秋冬人参が終わる5月中旬～下旬に出荷開始です。

★春人参、順調に育っています

農村では春真っ盛り。あちらこちらでセリ、タケノコ、タラの芽、ヨモギなどがとれ、カエルがゲコゲコ鳴いています。そんな春にすくすく育っているのが春人参です。

春人参はとても手間がかかります。例えば春人参を一番最初に出荷する卓也さんは、マルチを張りビニールトンネルを被せた畑にまだまだ寒い2月に種蒔きをします。3月になると少しずつ育ってきますので間引きをしますが、春は天候が不安定なので、風が強い日はビニールを抑え、暖かい日はビニールの裾を上げて換気をしたりと天気予報から目が離せません。特に今年の3月は大風でビニールの裾が埋もれてしまうなど本当に大変でした。そして4月に入ると暖かくなってくるのでビニールやマルチをはがし、さあ雨よ降れ、と思うのですがなかなか降りません。

「雨を待っているけど、明日降るといっていた天気予報も途中で変わっちゃったでしょ？畑がカラカラだから雨が欲しいよ」

また、卓也さんはハウスでも育てています。ハウスは管理は楽なのですが、風が吹かないので蒸れやすく病気になりやすいそうです。特に今年は新しい品種をちょこっと試してみたら、そこだけ菌核病という病気が出たそうで「こんなに病気になったのは初めてだよ」と大変そうです。

このように手間がかかるのでどうしても作る人が少ないのですが、その分、瑞々しくて美味しいのが春人参の特徴です。登場が待ち遠しいですね。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎春キャベツの出荷は5月中旬を予定しています。